

諮問

産学官金等の連携による実効性のある中小企業支援の仕組みづくりについて

諮問事項についての考え方

・起業家をはじめ、観光消費の取り込みや販路拡大といった多様な課題を抱える地域の企業に対し、専門的見地からの支援が必要であることから、本市の地域資源である知恵や技術、人材を有する大学や関係機関などのネットワークを再構築することによる個々の企業の底上げを図るための総合的なサポート体制を構築し、先を見据えた事業展開ができるよう、あらゆる角度からの支援を行う取組を検討する。

「諮問事項についての考え方」に基づいた支援体制の構築が必要ことから、現在、既に構築されている仕組みを基に、イメージ案を作成。

(検討するに当たっての考え方)

・本市の特性や現在ある仕組みを有効に活用しながら、アドバイスのみで終わるのではなく、具体的な解決策を提案し、確実に成果に結びつけていくためには、これらの仕組みを効果的に結びつける存在が中心となり、経営課題を解決していくことが必要。

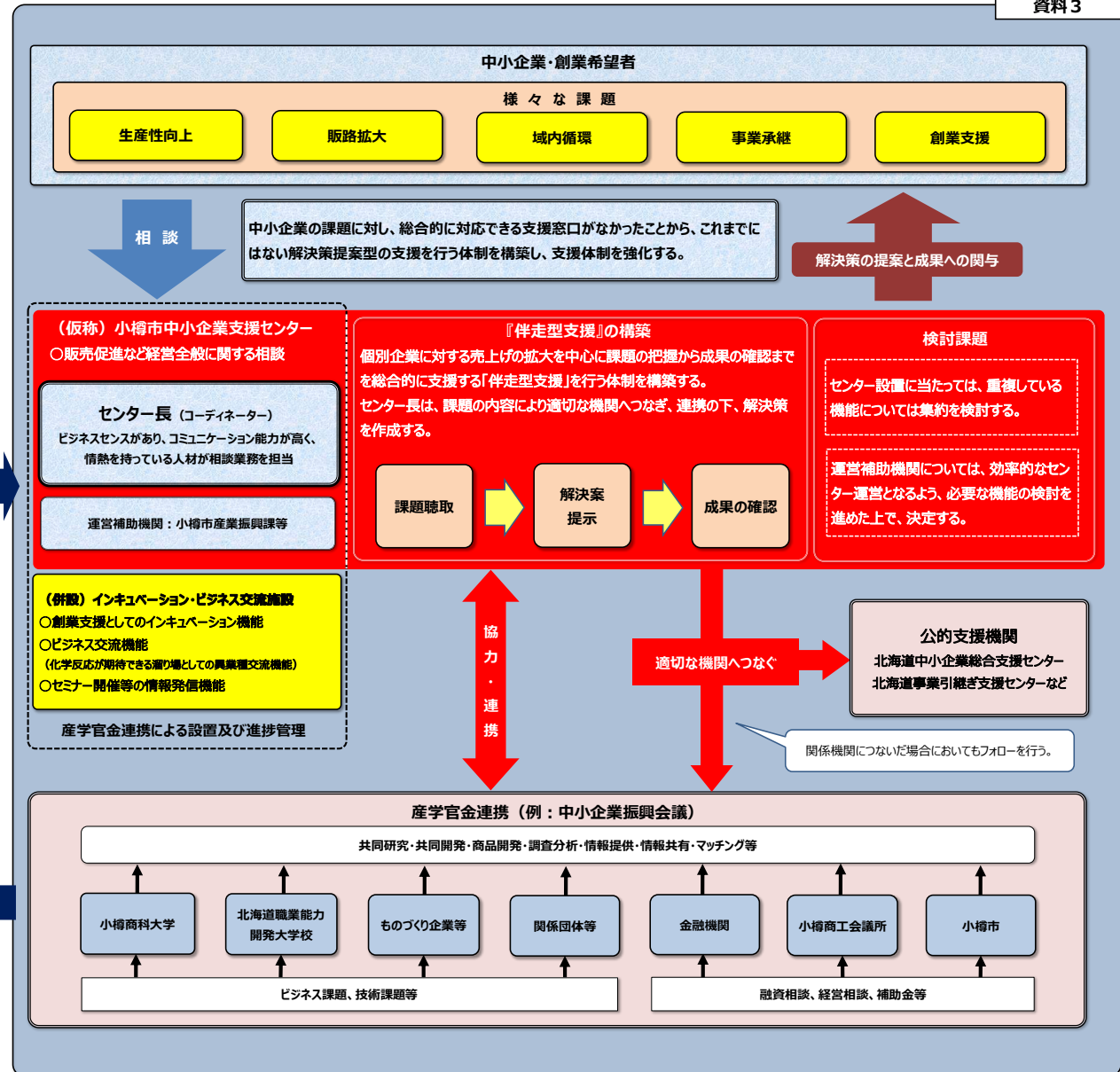
・昨今の中小企業を取り巻く環境に対応していくためには、効果的に機能している支援体制を活用していきながら、オール小樽で連携を取りつつ、新たに取り組む支援方法と連動させていくことが必要。

効果

・コーディネーター（センター長）を中心に、関係機関が持つ機能と新たに取り入れる「伴走型支援」を有機的に結びつけ、効果的な支援体制になることにより、市内企業の課題が解決され、成長発展していくことで、雇用増や人口増に加え、設備投資につながる可能性も考えられることから、地域経済と生活の好循環が期待される。

・課題の聴取から解決策の提案とその成果までを継続的かつ総合的に支援することで、課題解決に向けた道筋が見える化し、成果につながることでモチベーションアップや、新たな課題解決へのチャレンジにもつながっていくことが期待される。

・インキュベーション・ビジネス交流施設を設置することで、地場企業と起業希望者との交流の場ができ、創業機運の醸成や、企業間での交流を通して、新しいビジネスの創出や取引機会の拡大につながることを期待される。



(仮称) 小樽市中小企業支援センター設置に係る検討事項

1 (仮称) 小樽市中小企業支援センター（以下、「センター」という。）が持つ機能について

- ・効果的な支援のために必要な機能を検討する。
 - ①コーディネート機能
 - ・センター長が中心になり、課題解決に必要な関係機関をコーディネートし、連携して支援する。
 - ②販売促進など経営全般に関する相談機能
 - ・経営に関する様々な課題に対して、センター長が相談を受け、解決へと導く。
 - ③創業支援としてのインキュベーション機能
 - ・安い賃料で事務所スペースを貸し出すとともに、創業初期の起業者に対し、経営に関するセミナーを開催するなどのサポートを行う。
 - ④ビジネス交流機能
 - ・施設の共有スペースを活用し、起業家同士の交流を通じて新しいビジネスの創出や、起業希望者との交流による創業機運の醸成を図る。
 - ⑤セミナー開催等の情報発信機能
 - ・経営に関する様々な情報について、セミナーなどによる情報発信を行う。

2 産学官金等の連携による支援体制

- ・各企業等からの様々な課題について、センター長が資料に示した仕組みを活用して支援することを想定しており、連携する機関や仕組みを含めた支援体制を検討する。
 - ①産学官金連携により支援する関係機関の構成
 - ②中小企業振興会議などにおける支援状況などの進捗管理
 - ③関係機関とセンターの連携の仕組み
 - ④既存支援体制との整理・統合など

3 センターの設置費用などについて

- ・センター設置に向けたコストなどを検討する。
 - ①設置及び運営費用の確保
 - ②センター長の公募・選任
 - ③設置場所及び運営体制など

4 センター設置に向けた機運醸成について

- ・機運醸成や周知に向けた取組を検討する。
 - ①講師に f-Biz や f-Biz をモデルとした中小企業支援施設のセンター長などを招き、従来型の公的産業支援機関とは異なる f-Biz 式経営支援の方法や効果等についての理解を深めるための講演会などを開催